

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	頬粘膜扁平上皮癌における予後予測因子の検討		
② 研究期間	実施許可日 から 2025年12月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で手術を受けた頬粘膜扁平上皮癌一次症例の患者さん。		
④ 対象期間	2007年12月1日 から 2024年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学口腔外科学講座		
⑥ 研究責任者	氏名	中村 泰士	所属 奈良県立医科大学口腔外科学講座
⑦ 使用する試料・情報等	臨床所見（年齢、性別、cT分類、局所再発、頸部再発・転移、遠隔転移）、および病理学的所見（分化度、浸潤様式、切除断端、DOI、静脈侵襲、リンパ管侵襲、神経周囲浸潤、pN分類、節外浸潤）を診療録より収集します。		
⑧ 研究の概要	頬粘膜癌は口腔癌の中でも aggressive な腫瘍特性を示し、解剖的なバリアが乏しいため再発率が高いとされています。ガイドラインでは頬粘膜癌を含めた口腔癌の治療方針は切除手術を基本としており当科でも外科的治療を中心とした治療を行っていますが、本邦における頬粘膜癌の発生頻度は比較的まれで口腔癌全体の10%程とされており、その治療法や治療成績に関する報告は多くありません。口腔癌は、一般的に切除断端陽性、多発リンパ節転移、節外浸潤などが予後不良因子として認識されています。手術を行った頬粘膜扁平上皮癌一次症例の臨床病理学的項目を検討し治療成績を評価して、頬粘膜癌特有の予後予測因子の検索を行います。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年 5月 28日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用する		

い	ため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。			
⑬ 問い合わせ先・ 相談窓口	奈良県立医科大学 口腔外科学講座 担当者：中村 泰士			
	電話	0744-22-3051	FAX	0744-22-4121
	Mail	nakahiro@naramed-u.ac.jp		